

# 8) 筋ジストロフィー患者の3メチルヒスチジン (3MH) 代謝に関する研究

徳島大学医学部

新山喜昭 大中政治  
岡田和子 坂本貞一

国立徳島療養所入院中の患者19名(A群8名、12才、B群7名、15才2ヶ月およびC群4名、22才3ヶ月、1976年7月現在)につき1976年7月および1977年2月の2回、夫々3日間宛採尿を行ない尿中3MH量を測定した。このうちあとの実験結果はまだでていないが、7月のデータを前年度行なった2回のそれとともに表示した。(表1)

体重1kg当りの3MH排泄量は各年齢群ともに従来報告されているよりも高い傾向にあり、本疾患における筋蛋白分解亢進を推察せしめた。なお同一年令層においても実験時期によりかなりの変動がみられた。

また年齢が進むほど3MH排泄量は減少しており、これは一般健康人でみられる所見と同傾向であった。

なおクレアチンおよびクレアチニンと3MHの相関をみると図1に示したような関係があり、筋肉量の指標と考えられるクレアチニン排泄量と3MHの間には高度の相関がみられた。

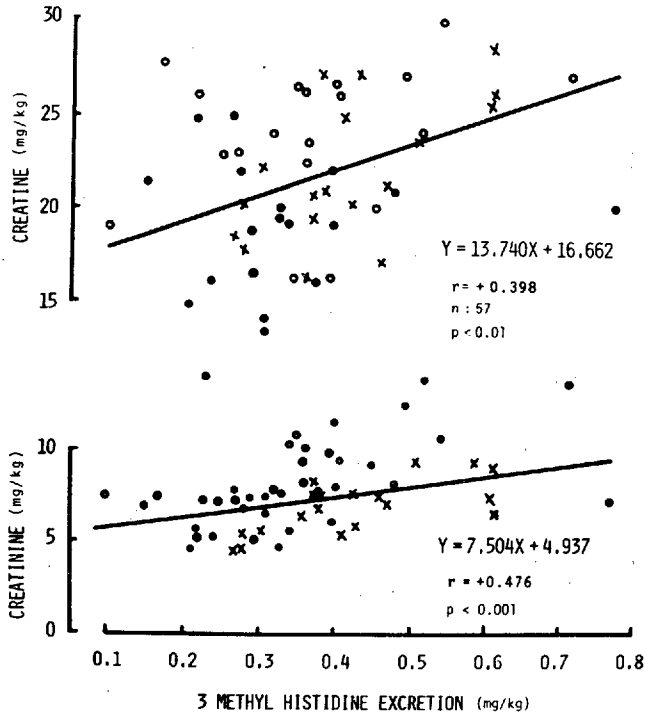
表1

URINARY OUTPUT OF CREATINE, CREATININE AND 3-METHYL HISTIDINE

Group	Body wt	Total daily excretion (mg)				Coefficient (mg/kg)			
		Creatine	Creatinine	Total creatinine	3-MH	Creatine	Creatinine	Total creatinine	3-MH
A	22.6	380	167	547	7.33	17.12	7.41	24.53	0.33
	24.3	535	272	806	11.01	22.57	11.33	33.89	0.46
	24.0	484	180	664	10.53	20.55	7.55	28.10	0.45
B	27.4	533	174	707	10.62	19.48	6.37	25.85	0.32
	28.8	711	260	970	9.55	24.90	9.06	33.96	0.34
	28.1	671	199	870	12.21	23.65	7.01	30.66	0.43
C	30.4	640	177	817	7.01	20.53	5.76	26.28	0.24
	29.8	756	210	966	6.99	25.27	6.94	32.21	0.24
	28.2	714	167	882	10.60	25.42	5.86	33.16	0.38

21

RELATIONSHIP OF 3MH TO CREATINE AND CREATININE



9) DMP患者のN出納と蛋白栄養状態 — その follow up study

徳島大学医学部

新山喜昭 大中政治 岡田和子  
 坂本貞一 新居さつき 山上文子  
 坂口久美子

PMD患者の至適栄養量を決定する目的で昨年に引き続き同一PMD患者において栄養調査を行ない、必要エネルギー量および窒素の零出納維持のためにはどれ程の蛋白質を摂取すべきかを明らかにするとともに病状と代謝の関係についても検討しようと試みた。

昭和50年7月を第1回とし、以後51年1月、7月の計3回にわたり、重篤度の異なるDMP患者19名、(A・B・C群夫々8・7・4名、昭和51年7月現在平均年齢夫々12才・15才2ヶ月・22才3ヶ月)について栄養調査、N出納、基礎代謝量(BMR)を繰り返し調査した。さらに今後3~4年に

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

国立徳島療養所に入院中の患者 19 名(A 群 8 名、12 才、B 群 7 名、15 才 2 ケ月および C 群 4 名、22 才 3 ケ月、1976 年 7 月現在)につき 1976 年 7 月および 1977 年 2 月の 2 回、夫々 3 日間宛採尿を行ない尿中 3MH 量を測定した。このうちあとの実験結果はまだでていないが、7 月のデータを前年度行なった 2 回のそれとともに表示した。(表 1)